

恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略（案）に関するご意見と回答

令和元年10月25日から令和元年11月5日まで恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略（案）に関するご意見を募集し、以下のとおりご意見を頂きましたので、市の考え方について回答致します。

NO	ご意見	回答
1	<p>先月来、本州においては台風15号・19号が続いて豪雨と甚大な災害が生じ、一部の水道浄水所等が水没し水の供給が停止したとの新聞記事を読みました。</p> <p>恵庭市における地上の高低差については不知ですが、①牧場配水所、②柏木配水所、③千歳川浄水場の各地において、周辺の千歳川、漁川、茂漁川、柏木川等が今回のような河川氾濫が発生した場合に各施設へ浸水等の恐れは無いのか教示願いたい。</p>	<p>北海道開発局において想定最大規模（1000年に1度程度の大雨を想定）の降雨による洪水浸水想定区域が公表されていますが、牧場配水池（標高72.0m）、柏木配水池（標高65.0m）については、標高が高く、洪水浸水想定区域外となっており、浸水の恐れはほとんど無いと考えています。</p> <p>千歳川浄水場においても、建物への浸水の恐れは無いと考えていますが、取水施設や管理橋の一部は、河岸侵食の恐れがあります。恵庭市では、安心安全な水を供給することを目的とし、平成27年度から、従来の漁川浄水場からの受水に加え、千歳川浄水場からの受水を開始し、水源の2系統化を図り、水質事故や災害時に備えています。</p>
2	<p>強靱をテーマにしたところについて、地震に対する対策については触れていますが、先般の台風15号、19号では全国で浄水場が浸水するなど大変なことになりました。新聞記事には「全国の主な浄水場3,521ヶ所のうち、22%にあたる758ヶ所が浸水想定区域にあり、そのうち76%の578ヶ所は入り口のかさあげや防水扉の設置などの対策がされていなかった」とありました。</p> <p>恵庭市の上下水道の設備が、どうなっているのか心配になったのですが、この素案ではそのことについて触れられていません。急なことだったので素案に反映させるのは難しいかもしれませんが、知りたいと思いました。</p>	<p>恵庭市で管理している水道施設としては、牧場配水池（標高72.0m）、柏木配水池（標高65.0m）の他に西島松増圧ポンプ場（標高38.1m）、柏木増圧ポンプ場（標高51.0m）がありますが、標高が高く、洪水浸水想定区域外となっており、浸水の恐れはほとんど無いと考えています。</p>
3	<p>P27の台帳管理システムの導入について、このシステムは新規で構築するソフトウェアなのか、既にどこかで使われているソフトウェアを恵庭市用にカスタマイズしたものを導入するのか、どういうプラットフォームで動くのか、データはクラウドで管理するのか、自分で管理するのか、提供ベンダーは何社ぐらいあるのかなど、知りたいと思いました。それによって価格もピンキリになるため、今後の経営計画に影響がでるかもしれないと思ったからです。</p>	<p>現在、上・下水道施設の台帳は、別々のシステムでサーバー管理していますが、住宅地図、航空写真などの基礎情報の一括化による経費削減、図面等の閲覧時間短縮などによる窓口業務の円滑化を図るため、台帳システムの統一化を図り、全国的に使用されている既存のソフトウェアを恵庭市用にカスタマイズし、クラウド管理出来るものを導入したいと考えています。</p> <p>また、水道法改正に伴い水道台帳システムの整備が義務づけられたことから調書や図面として整備すべき情報を踏まえ、危機管理対策のための分散保管やバックアップなども検討し、適切に資</p>

		<p>産管理を行いたいと考えています。</p> <p>上・下水道施設台帳を一元化したシステムを提供できるベンダーは、道内に5社程度あると伺っており、システム導入については、導入費用を考慮した収支計画となっております。</p>
4	<p>現在40年を経過した管路が多々あり、今後経年することで更に増加するとのことですが、漏水等あつてはならないことなので早々に更新する必要があるのかと思ひますが、更新に当たり財政面における困難性はわかりませんが、水道事業会計で現在如何程の内部留保額があつて、全体像からみてそのうちどれほどの額が管路の更新に使え、結果何年で更新が終了するのか教示願ひたい。</p>	<p>内部留保資金は、平成31年3月末時点で、618,670千円あります。うち、125,165千円は減債積立金で、既に償還に充当するという目的が決まつており、残りの493,505千円は損益勘定留保資金になります。平成30年度中の収支差額は、最大で258,822千円となつたことから、この金額は運転資金として確保しておきますので、これを除くと、残り234,684千円となります。しかし、本計画にあるように、令和2年度より、工事費を従来に比べて、150百万円程度増額することから、今後の運転資金の増加を考えると、内部留保資金からはほぼ、管路の更新に使用できる金額はないこととなります。</p> <p>また、管路の更新についてですが、「更新の終了」を「老朽管率（標準耐用年数の1.5倍である60年を超過した管路の割合）がゼロになる時期」として考えますと、本計画で採用しています投資計画③（管路更新計画）においては、50年後の老朽管率は50%になります。（資料38ページ参照）</p>
5	<p>現在の表紙では「恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略」となつていますが、少し固いイメージになるのではと思ひます。そこで提案ですが、P20以降の理念と目標のキーワードとなつている「安全、強靱、持続」を一つにまとめた言葉をサブタイトルとしてはどうでしょうか。</p> <p>恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略 ～安全・安心な水を未来まで～（サブタイトル）</p>	<p>委員ご提案の、基本目標「安全・強靱・持続」を一つにまとめた言葉をサブタイトルとして表紙に追加することについて、本審議会でのご審議をお願いします。</p>
6	<p>第9章の構成が、1度読んだときは理解できませんでした。(1)、(2)の場合分けのシミュレーションを踏まえて、(3)がこれから実行していこうとする計画なのかなど2回目に読んで想像できたのですが、9章のタイトルのすぐ下、(1)を読み始める前のところに、そういう構成だということを書いておいてもらえると1度で理解できると思ひます。</p>	<p>本日の委員会資料として配布しております冊子では、書面審査として郵送した冊子から、ご指摘された内容に通ずるものを修正しております。修正内容としては、P38第7章7.2(1)投資計画の③の末尾に[採用]と記載し、「検討結果はP51に記載」と追記しております。また、P47の第8章財政収支見通しの検討結果の下に、「P38の7.2投資・財政計画について詳細を示します」と記載し、P51「(3)投資条件③の場合」と明記することで、第7章と第8章の関連性を判りやすくしておりますが、委員ご指摘のとおりP47の2行目の投資・財政計画の後ろに「①から③の3ケースの」を追加し、P51の2行目の後ろの管路更新計画を1行目の後ろに移動し、2行目の後ろに[採用]を追加記載してP38の③の記載と同じようにしたいと考えております。</p>

7	<p>P32:「専門職員制度を検討します」という記述がありますが、もっと積極的に一歩踏み込んだ表現をして頂けると、「単に検討するだけで何もやらないのでは？」というニュアンスを免れると思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>専門職員制度の検討については、公営企業単独で制度決定できるものではなく、人事案件であることから市長部局への提案事項になります。今回初めて計画に明記するものであり、もう少し検討が進み方向性が見えてきた段階で、一歩踏み込んだ内容の記載を検討したいと考えております。</p>
8	<p>P1: 下から7行目と6行目の文末が、共に「おります」となっているので、どちらか変えた方が良くと思います。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、下から7行目の文末を「されています」に訂正いたします。</p>
9	<p>P21の色ですが、中央の色が濃すぎて字が読みにくいように思います。左の色も濃すぎるように思います。P3の図も同様です。</p>	<p>色彩については、印刷機器の種類及び上質紙の種類により、色調の再現が違うため、製本時の印刷機で再現できる色調を確認し微調整を検討したいと考えております。</p>
10	<p>P47の下から4行目の「分析し」の「し」が、「赤色」になっています。</p>	<p>修正いたしました。</p>
11	<p>既に仕様は決定されているかとは思いますが、経費削減と環境への配慮のため、発行する際の紙質および印刷は高品質にしない方が良いと思慮いたしておりますので、どうぞご一考下さい。</p>	<p>冊子の製本時における紙質と印刷品質につきましては、本業務における委託仕様に含まれておりますが、一般的に安価とされる白色の用紙で通常印刷を採用することとしております。</p>
12	<p>P20の基本理念ついて、「市民のための水道は、清浄にして豊富低廉な水の供給を図る」となっているが、低廉（安価）という言葉が強調される印象を受ける。</p> <p>「市民のための水道は、清浄にして豊富低廉な水の供給を図るため経営基盤を強化する」または「市民のための水道は、清浄にして豊富低廉な水の供給を図るため水道の基盤を強化する」と加筆し、事業継続が重要であるとしてはどうか。</p>	<p>P20に記載のとおり、基本理念につきましては、市民が主体であることを強調して「市民のための～を図る」という表現としています。</p> <p>その理念を実現するための「手段」として、基本目標を国と合わせて「安全」・「強靱」・「持続」の3つに設定し、「持続：次世代につなぐ水道事業運営」の中に、経営基盤の強化を含めています。</p> <p>また、委員がご指摘されている点につきましては、国の水道ビジョンにおいても水道の理想像として「合理的な対価をもって持続的に受け取ることが可能な水道」という表現も出てくることから、事務局としても認識しており、「低廉（安価）」という言葉は、「経営努力により可能な限り安価にお届けする」という意味であることを説明するため、「5. 1基本理念」の9行目に、「今後も一層、経営基盤の強化を目指し・・・」という説明を記載しています。</p> <p>経営基盤の強化や水道の基盤強化による事業継続が重要であることは、ご指摘のとおりと思いますが、それを「理念」として記載するのか、「手段」として記載するのか、計画内での位置付けによると考えます。</p> <p>8月6日の公営企業審議会での議事においては、口頭で、基本理念は変更しない方向で考えますと説明をして、議決した変更点には含めておりませんでした。審議会の場で改めて審議するかどうかも含めて、審議会にお謀りします。</p>

<p>13</p>	<p>一主婦の目線でこれを読ませていただく中、P35の「利用者サービスの充実」はどんな具体的な内容かをもう少し知りたいと思いました。</p> <p>また、私をはじめ市民の多くは、自分達の使っている水道の仕組みを知りません。どこの水源が、どのようなプロセスで蛇口に到達しているのか、費用はどうか、利用者が減れば料金は上がる等の根拠。この仕組みを分かった上で「水道の未来を一緒に考えていこう」というキャンペーンや啓蒙活動を行うこともまた、利用者サービスなのではないと思います。</p>	<p>P35の「Ⅲ持続(4)サービスの向上」を基本方針とする施策6の「利用者サービスの充実」について、このあとの議事でも審議して頂きますが、事業展開としてキャッシュレス決済の拡充を図り、利用者に対して口座振替の支払い方法のほか、ラインペイ等の支払い方法の選択肢を増やすことにより、利用者のサービス充実を図るものです。</p> <p>もう一つの事業展開として、上下水道独自の専用ホームページを開設いたします。これは、現在恵庭市ホームページの中で展開している上下水道の情報について、独自の専用ホームページを開設することにより、利用者がダイレクトにアクセス可能となり、情報及び広報活動の確認をできる利点があります。情報提供としては、水質の状況、各施設の情報、水道水の配水区域、財務の状況、水道事業のしくみなど現在掲載している内容を拡充し、より幅広く掲載してまいります。</p>
-----------	--	---